

教科	図画工作	題材名	すきまちゃんの すきなすきま
----	------	-----	----------------

本時のねらい

隙間の形からイメージを膨らませ、写真を使って想像の世界をつくる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

本時では、校内で撮影した様々な隙間の写真に、「すきまちゃん」になった自分の写真を合成し、「すきまちゃん」がいる世界を想像する。身の回りの小さな隙間の写真に自分の写真を合成することで、現実の世界では実現不可能な世界を表現することができる。本題材は、1年生の児童にとって遊びのような感覚で楽しむことができ、友だちに対する見方、考え方を広げられる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC (iPad)
- ・電子黒板
- ・学習支援ソフト (ロイロノート)
- ・プレゼンテーションソフト (Keynote)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返る。 ○本時の課題をつかむ。 「すきまちゃんになって、いろいろなすきまであそぼう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を、写真を提示しながら振り返ることで、本時の課題の見通しをもち、意欲がもてるようにする。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で隙間を見つけて写真を撮影する。 ○隙間写真を見ながら、すきまちゃんになった自分を想像する。 ○すきまちゃんになりきり、自分の写真を友達と撮り合う。 ○写真を編集する。 ・Keynote に自分の写真を取り込み、背景を消す。 ・人物写真と隙間写真を合成する。 (Keynote またはロイロノート) ・周りのものに合わせて、人物写真を拡大、縮小したり、トリミングしたりする。 ○完成した写真をロイロノートに提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の隙間を見つけて、端末を使って撮影する。 ・隙間にあうポーズを考え、自分の写真を撮影する。 ・すきまちゃんの視点に立ち、すきまちゃんと周りのものの位置関係などを考えながら編集するよう促す。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○全体で共有し、交流する。 ○振り返りを書いて提出する。(ロイロノート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した写真を電子黒板に写しながら、どのような思いで作ったのかなど発表できるようにする。 ・完成した写真を全体共有することで、友だちのよさなどに気づき、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



隙間にいる自分をイメージしてポーズをとり、写真を撮り合っている場面



Keynote に写真を取り込み、背景を消している場面



写真を合成し、吹き出しを書き込み、完成

児童生徒の反応や変容

写真を合成することで、実際に自分が隙間にいるかのような作品ができるので、児童は活動を楽しんでいた。写真の合成だけで終わるのではなく、吹き出しを書いたりするなど、さらに想像を膨らませながら作品づくりを行うことができた。隙間という、普段は気に留めないような場所にも、目が向くようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

グリーンバックの前で写真を撮ることで、Keynote 上で背景を消しやすくなった。今回は背景を消して隙間写真と合成するだけだったが、Keynote のさまざまな機能を活用することで、さらに表現の幅を広げることができると考える。